

Meta Muse Spark 1.3：圧倒的なコストパフォーマンスと進化の軌跡

Metaは2026年4月の初代公開からわずか5ヶ月で、Muse Sparkを1.3へと進化させました。Fable 5級の高度な推論能力を維持しながら、劇的な低コスト化と高速化を実現し、特に自律型エージェントやコーディング分野で強力な選択肢となっています。

5ヶ月間の劇的な進化のタイムライン

2026年4月から9月の短期間で、汎用推論からエージェント/コーディング特化型へと進化。

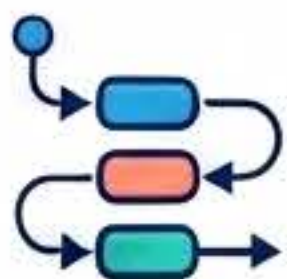
2026年4月
(1.0)



汎用推論



2026年9月 (1.3)
エージェント/コーディング
特化型



エージェント動作の最適化

1.2比でツール呼び出しを20%、消費トークンを25%削減し、効率を大幅に改善。



実運用に即した信頼性の向上

曖昧な際の質問や重要操作前の確認など、エージェントの自律性と安全性を強化。

市場を圧倒するコストパフォーマンス



フロンティア級の知能を維持

独立評価でFable 5と同率のスコアを記録し、「安価だが高性能」を両立。



Cost



Muse Spark 1.3
(Standard)

入力

\$1.25/1M

出力

\$4.25/1M

競合比 1/8～1/12 の低コスト

Claude Fable 5と比較し、入力コストは8分の1、出力は約11.8分の1という驚異的な安価を実現。



Muse Spark 1.3

Claude Fable 5

~209 tokens/s (xhigh)

67.3 tokens/s

業界最高水準のスループット

出力速度は約209 tokens/sに達し、観合モデル(67.3 tokens/s)を圧倒するスピード。



Claude Fable 5

Claude Fable 5

入力

\$10.00/1M

出力

\$50.00/1M